

開催地名：埼玉県三郷市	
開催日時	令和4年9月30日（金） 10：50 ～ 12：40
開催場所	三郷市立早稲田中学校
語り部	糸日谷 美奈子 （千葉県千葉市）
参加者	中学2年生生徒 209名
開催経緯	<p>75年前に発生したカスリーン台風による大規模な水害や、当時まだ0歳～3歳だった東日本大震災については、生徒たちにとっては自分事として考えることはできない。さらに、本市では、東京湾北部地震等による被害が想定されており、地域防災力の向上が求められている中で、当校では避難訓練等は定期的に行っており、生徒たちは静かに取り組んでいるが、実際の被害を経験したことがないため、自分事としてとらえられない様子を見受けることもある。また、学校は有事の際の避難場所となるため、避難所に関する情報も欲しい。</p> <p>以上のような状況をふまえ、生徒の防災に対する意識の向上と視野を広げるため、東日本大震災の語り部の講演を実施することとする。</p>
内容	<p>（1）はじめに</p> <p>東日本大震災が発生した11年前、私は岩手県釜石市立東中学校で理科の教師をしていた。東北地方太平洋沖地震が発生した際に、皆さんと同じ中学生がどのような行動をとったのか、今日は皆さんにお話したいと思う。なお、皆さん自身は、災害時に「助けられる側」の人間か、「助ける側」の人間か、考えながら聞いてほしい。</p> <p>（2）東日本大震災の発災時について</p> <p>平成23年3月11日14時45分ごろ、震度6弱の地震が発生した。地鳴りが聞こえ、地面はグニャグニャ揺れており、渡り廊下が大きいたわんでいた。揺れが収まるとまずはサッカー部の生徒たちが走り出し、続いて校内にいた生徒たちも高台に向かって走った。</p> <p>最終目的地となる高台の福祉施設に到着して海の方を見ると、大きな音と共に砂煙が迫ってくる光景が見えた。災害時、この施設まで逃げることは想定していたが、その先は何も決めていなかったのでパニックに陥った。「逃げろ！死ぬぞ！」と叫ぶ声が聞こえて我に返り、避難してきていた小学生や父兄とともにさらに上に向かって走った。山の上で安全を確保し、津波がここまでは到達しないという確認が取れるまでしばらくそこにいたが、暗くなり始めたので、避難できる建物まで移動する必要があった。開通したばかりの高速道路を歩いて、市内の廃校になった中学校の体育館に移動した。小・中学生と近隣の住民併せて2,000人が、狭い体育館で足も延ばせずに、食事も暖房もトイレもない中で一夜を明かした。</p> <p>翌日、さらに内陸の中学校に移動し、食料や寝具をはじめ、必需品の提供を受けてようやく安心することができた。携帯電話が不通で使用できなかったため、生徒たちの家族との連絡や情報収集のために、ラジオ局に情報発信を依頼した。</p> <p>（3）釜石市という土地と、釜石東中学校での取り組み</p> <p>東北地方の太平洋側に位置する岩手県釜石市では、明治三陸地震津波(1896年)、昭和三陸地震津波(1933年)という2度の津波被害を受けた歴史がある。また、政府が</p>

ら、30年以内に震度6弱以上の地震が起こる確率が75%以上であると発表されていた。そのため2009年から防災教育を強化し、釜石東中学校では避難訓練だけではなく、総合学習の時間を利用して、防災マップの作成、救急搬送や応急処置、水上救助、炊き出し等の学習、安否札1000枚の配布を実施した。平日の昼間に地域にいるのは高齢者や主婦、幼児、そして学校にいる小・中学生である。中学生は、助けられる人ではなく、助ける人でなければならないということも、総合学習で学んだ。

この大震災で、釜石東中学校を含む釜石市内の小・中学校では、学校にいた児童・生徒は全員無事だった。これまでの歴史と、災害の危険性を日頃から教育していたこと、避難所の想定をしていたことが実を結んだのだ。このことは釜石の奇跡として報道されたが、釜石東中学校の生徒たちは、日頃から災害に対してしっかり準備をしていたので、決して奇跡ではないという気持ちを持っている。私自身もそのように考えるが、一方では多くの犠牲者が発生した事実もあるので、中学生が学んだことを、もっと地域の人たちに伝えることができたらという後悔の念もある。

(4) 皆さんにお伝えしたいこと

つらいときこそ、周りの人に「ありがとう」と言われることを率先して行おう。苦しい時ほど、周りの人に「ありがとう」と素直に言えるようになろう。そして後悔しない未来を創るためには、いつ来るかわからない災害の前に準備しておくことが大切である。できることから、一つでもいいから行動に移してほしい。自分の命は自分で守り、学んだことを地域に伝える姿勢を意識してほしいと思う。



開催地より

震災時の中学生の具体的な行動についてお話を聞くことができ、非常に参考になった。避難訓練の実施はもちろん、ボランティア活動に力を入れて、地域が有事の際には積極的に活動できる生徒に育てていきたいと思う。